

前橋市学校部活動の地域展開に向けた推進計画（案）に係るパブリックコメント（意見募集）の実施結果について

学校教育課

1 意見募集期間

令和7年12月1日(月) ～ 12月26日(金)

2 意見提出者及び意見数

- ・意見提出者数：17人（Google フォーム16人、紙面1人）
- ・意見提出件数：18件

3 意見の概要及び市の考え方

前橋市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>○ボランティアには地域差が出るため、これまで通りの形を維持するのは無理ではないか。</p> <p>○ボランティアに任せるのは統制が難しい。体罰や暴言を防止するためにも、教育委員会の管理下の活動とし、教員免許をもった有償の指導員が指導にあたり、研修を受けさせたり、備品等を支給したりするのがよい。</p> <p>○保護者やボランティアに依存するクラブ運営は、持続性が期待できないうえに、スタッフと一般保護者との距離感の取り方が難しく、トラブルの元になる。責任の重さと労務に見合った報酬を支給し、適切な人材を充てるべきである。</p> <p>○地域クラブの運営を保護者が中心となっていく場合、代表・コーチと一般保護者という立場の違いが出てきて、人間関係が難しくなる。フラットで責任ある立場の第三者による運営を希望する。</p>	<p>地域クラブの運営に保護者やボランティアの方が関わってくださるのは、学校を含む地域全体で支える地域展開の理念にかなっています。しかし、指導の中心となるのは、専門性など適切な資質・能力をもった方をお願いすべきと考えます。指導者を確保するため、引き続きまちづくり公社による指導者バンクの充実を図ってまいります。</p>
2	<p>○希望する教員が地域クラブの指導をすることを推奨してほしい。</p>	<p>現在でも、希望する教員が地域クラブの指導を行えるようにする兼職兼業制度が運用されています。今後も、希望者本人の意思を尊重することが大切であると考えます。</p>

3	<p>○地域展開の運営主体はどこで、中体連との関係はどう考えるのか。</p> <p>○教員・学校やこれまでのノウハウに期待するのではなく、違った運営母体・リーダーシップに移行していくべきである。</p>	<p>現在は、市教育委員会、スポーツ課、文化国際課、前橋市まちづく公社が連携しながら進めています。今後は、本市全体の地域クラブを統括・運営する組織が必要であり、どのような組織にしていくのが今後の課題と考えています。活動の監督、財政支援などを総括的に担う組織の統合を検討していきます。スポーツ競技については当面は中体連と並行した活動となるため、相互の連携・協力が大切になると考えています。</p>
4	<p>○令和9年9月から休日の部活動がなくなるが、大会はどうなるのか。</p>	<p>地域クラブとしての出場が可能となるよう、中体連等と協議していきます。</p>
5	<p>○市外クラブで活動しているが、学校名で出場する大会には学校の先生の引率が必要だ。出場できないことが心配である。</p> <p>○中学校からバドミントンを始めた子がいた場合、在籍する中学校にバドミントン部がないと、強豪の集まるクラブチームの予選会にしか出場できない。学校に部活動がなくても市の中体連大会に参加できる仕組みを盛り込んでほしい。</p>	<p>国から出されたガイドラインでは、大会の引率を教員以外でも可能としたり、地域クラブの大会参加を保証する認定制度を創設したりすることが提言されています。本市も、部活動に限らず、生徒が大会やコンクール等に円滑に参加できるようにする認定制度について検討していきます。</p>
6	<p>○地域クラブの活動は、まずは実際の経済状況に置き換えて換算するところからスタートし、行える規模と範囲を決めるべきである。</p> <p>○全員が運動や文化的な活動を広く選べる環境は終わり、できる範囲のことを選べる人が行くと割り切るしかない。</p>	<p>スポーツや文化芸術活動に対する生徒の多様なニーズに応えられるようにするためには、多くの選択肢が必要です。地域展開により自分に合った活動を見つけやすい環境づくりにつながると考えています。部活動に代わる地域クラブ活動は、保護者の経済的負担が極力少ないものになるよう検討していきます。</p>
7	<p>○やりたくない先生に顧問をさせても、先生も子供も不幸である。先生に代わって地域の経験者や保護者が指導者となり、学校の施設を使って活動できるようにしてほしい。やる気のある子にやりたいただけ活動させたい。</p>	<p>教員ではない人が指導者である地域クラブが、学校施設を使って活動できる制度を運用しています。</p>

8	<p>○部活動はつらかった思い出が多く、休日にまでやらなければいけない理由が分からない。休日にまでやる必要はなく、体を動かすことを楽しむ気分転換レベルでよいと思う。放課後に友達と少し活動できればありがたい。専門的にやりたい子は違うところに通えばいい。</p> <p>○猛暑のため、夏は部活動をしないほうがよい。</p>	<p>部活動に代わる地域クラブは、休日の活動の有無、平日の活動日数など、どの程度活動するかは各クラブで決定するため、生徒それぞれのニーズに応じた参加が可能となると考えています。また、地域クラブができることで、既存のクラブチームやスクールも合わせ、生徒の選択肢が広がるのが想定されます。</p>
9	<p>○公的な補助金が運営には少なすぎる。</p> <p>○地域クラブ立ち上げにあたっては、指導者の確保等、何かと経費がかかるため、交付される補助金の増額をお願いしたい。</p> <p>○備品や消耗品にかかるお金を地域クラブで賄うとなると、保護者負担が多くなる。市として配慮をお願いしたい。</p> <p>○企業から寄付を募るなど、財政的支援を充実してほしい。</p>	<p>地域クラブ活動の原資は保護者負担が原則ですが、保護者負担をできるだけ低廉とすること、経済的に困窮する世帯には適切な支援を行うことが国のガイドラインにも示されています。本市としても、保護者に過度の負担をかけないように、市としての財政支援や学校を含む市有施設の減免利用等を検討していきます。</p>
10	<p>○自力移動ができない遠隔地に活動場所がある場合、送迎できない家庭の子は地域クラブに参加できない。交通手段の確保、割引制度など、実効性のある移動の支援方法を計画に盛り込んでいただきたい。</p> <p>○交通インフラの刷新は機能的・資金的に不可能だと思う。</p>	<p>自力移動が可能となるよう、各地域に偏りなく地域クラブが設置されるよう働きかけていきます。器械体操など、専門的な設備のある限られた場所でしか活動できないものについては、公共交通機関の効果的な活用など、移動にあたっての支援方法を検討していきます。</p>
11	<p>○地域展開は保護者の負担が大きくなるし、部活動を楽しみにしていた子供の気持ちをないがしろにしている。部活動をなくさないでほしい。</p> <p>○地域クラブではなく、部活動がしたい。</p> <p>○部活動は学校の一員として頑張れる唯一の場であり、新たな自分に気づくチャンスを与えてくれる。部活をなくさないでほしい。</p> <p>○人間関係の理解、社会性など、部活だから学べるものも多い。部活がなくなり自由参加の活動となれば、何もしない放課後を過ごす子が増えることが心配である。</p>	<p>部活動はこれまでの中学校教育の中で、生徒の成長に多大な役割を果たしてきました。しかし、生徒数の減少により、学校ごとの部活動の存続は難しくなっています。そのため、部活動に代わる地域クラブにおいても、部活動が果たしてきた教育的意義を継承することが不可欠なことと考えています。</p>

	○小学生の親だが、送迎や活動費を考えると、地域クラブでなく部活動に所属させたい。今後部活動がどう変わっていくのかが知りたい。	
12	○高校も地域展開してほしい。	国のガイドラインは、中学校生徒を主な対象としながらも、このガイドラインを参考に高校においても実情に応じて必要な取組を進めることが望ましいとしています。
13	○地域クラブが活動を予定している休日に、部活動が入ってきて場所が使えないことがあった。活動場所が確保できるようにしてほしい。	まずは休日の部活動を地域展開することを目指していますので、さらに学校側の理解と協力が得られるよう働きかけていきます。

※取りまとめの都合上、同様のご意見をまとめた上、適宜要約しています。